

10・1県民のつどいに331人

署名締切は11/18

湖北・彦根・信楽、3地域の運動が合流 全県で10万人の署名を！



遅くなりましたが、「高校の統廃合は許さない 10・1県民のつどい」の報告をします。

再編案の発表以来、湖北、彦根、信楽の「地域の高校を守る運動」が急激に高まり、県議会でも統廃合問題が最大の問題になっています。そんな情勢にガッブリとかみ合って、「高校の統廃合は許さない 10・1県民のつどい」が開かれました。短期間の準備にもかかわらず、立場の違い、地域の枠を超えて331人が集まりました。

自民党の青木県議(長浜市選出)のあいさつ。「自民党の中で、統廃合は立ち止まって考えよう」という議員が増えてきた。9月28日に、『長浜市議会・連合自治会・PTA・小中学校の校長先生方、長浜全域の皆さんが統廃合にノーを突きつけている現実を、教育長さんどう思うか』と質問した。末松教育長は頑固でなかなか首を縦に振らない。この12月に、何らかの動きが出てくるのではないか。最終は、地域の思いの中で、県議団として決める。私は、出馬する前から統廃合には反対していた。これからも一生懸命頑張る。」

西村県議(彦根市選出)。「地元の人に『西高なくしてどうするんや。早く行ってこい』と言われて挨拶に来た。私は自民党で、皆さんとはお付き合いはなかった。しかし、この事は黙ってられないと、ここ(壇上)へ上がらせていただいた。昨日、中沢議員が『学びの共同体』の成果・実績を並べたが、継承しようとは一言も言わなかった。非常に残念だった。『末松さん。西高はあなたの地域ですよ』と言っても、教育長の答はなかった。知事は、この教育の問題ではダメです。皆さんと頑張らせていただきたい。」

中西市議(甲賀)は「1300度に上がる登り窯のように、信楽の熱意で運動を広げたい」。

湖北・彦根・信楽の3地域からの報告とフロアー発言が続きました。

長浜北高1年の植田さんは「僕は、入学式の時、栄えある101年目の入学生だという校長先生の言葉に、胸が高鳴りました。長浜北高を卒業しても、自分の母校はなくなってしまいます。僕は、歴史ある長浜北高が幕を閉じるときの傍観者でいたくはありません。」。

集会アピールを採択し、最後に10万人署名が呼びかけられました。

この集いは、湖北、彦根、信楽の3つのたたかいが合流し、全県運動のあらたな出発点になりました。

1ヶ月で10万人署名を

次の署名の締め切りは11月18日です。

現在5万筆を超えています。10・1のつどいを力に、さらに5万筆を集めましょう。



ストップ高校統廃合速報 2011年度第25号

2011/10/12 県立高校の統廃合を考える会

077-522-4965 FAX 077-522-4978

(掲示・増し刷り・回覧などで全教職員にお知らせください)